

# カッパな

仏教の未来に  
挑戦する情報誌!!

# 僧侶たちのカッパマジック

# 33



## お坊さんはなぜ “カッポイイ”のか Part 2

マンガ お坊さん日和：第12話「きくのだっ!!」  
しりとり法話バトル：第6回「スイーツ」  
2・3月の仏教イベント情報

# 33

## 第2回

お坊さんはなぜカツコイイのか

はじめまして、お坊さん。

「ひとりできて来てひとり準備、ひとりで公演してひとり片付けてひとり帰る。だから、私、山添真寛は浄土宗の劇団ひとり、なんです」

——面白い。いったい何者だろう、このお坊さんは。ギリギリ現役女子大生が再び全国のお坊さんファンを代表してその秘密に迫る。

取材・文／関根理沙  
Text:Risa Sakine

去る12月23日、浅草寺内の浅草神社に真寛さんの姿があった。紙芝居と人形劇の屋外公演である。お坊さんが神社で劇をやる、この心地良い矛盾がたまらない。

「おじさんは山添真寛と言います。みんな、僕のことには真寛さんと呼んでください。ここでみんなに質問です。日本で一番速い電車は？」「しんかんせん！」「子どもの反応は早い。『…あれ？おじさんの名前なんだっけ？』『…しんかんせん！』」応える子どもたちからは、思わず笑みがこぼれた。真寛さんの問いに「しんかんせん」「しんかんせん」と繰り返すたびに子どもたちとの心の距離が縮まっていくのがわかった。つかみはバッチリだ。

22歳の時、寺の息子として自然な流れで修行へ。だが、そこで違和感を覚えた。「今思えば皆現実的だったんですよ、生活があるから。でも片田舎で育った若い自分は、これは違う、このまま僧侶になっても面白くないなと思っただんです」。僧侶の道を選ばず、もともと好きだった喋りを活かそうと、上京し劇団の養成所に入る。その後は叔母が経営する会社で、人形劇な

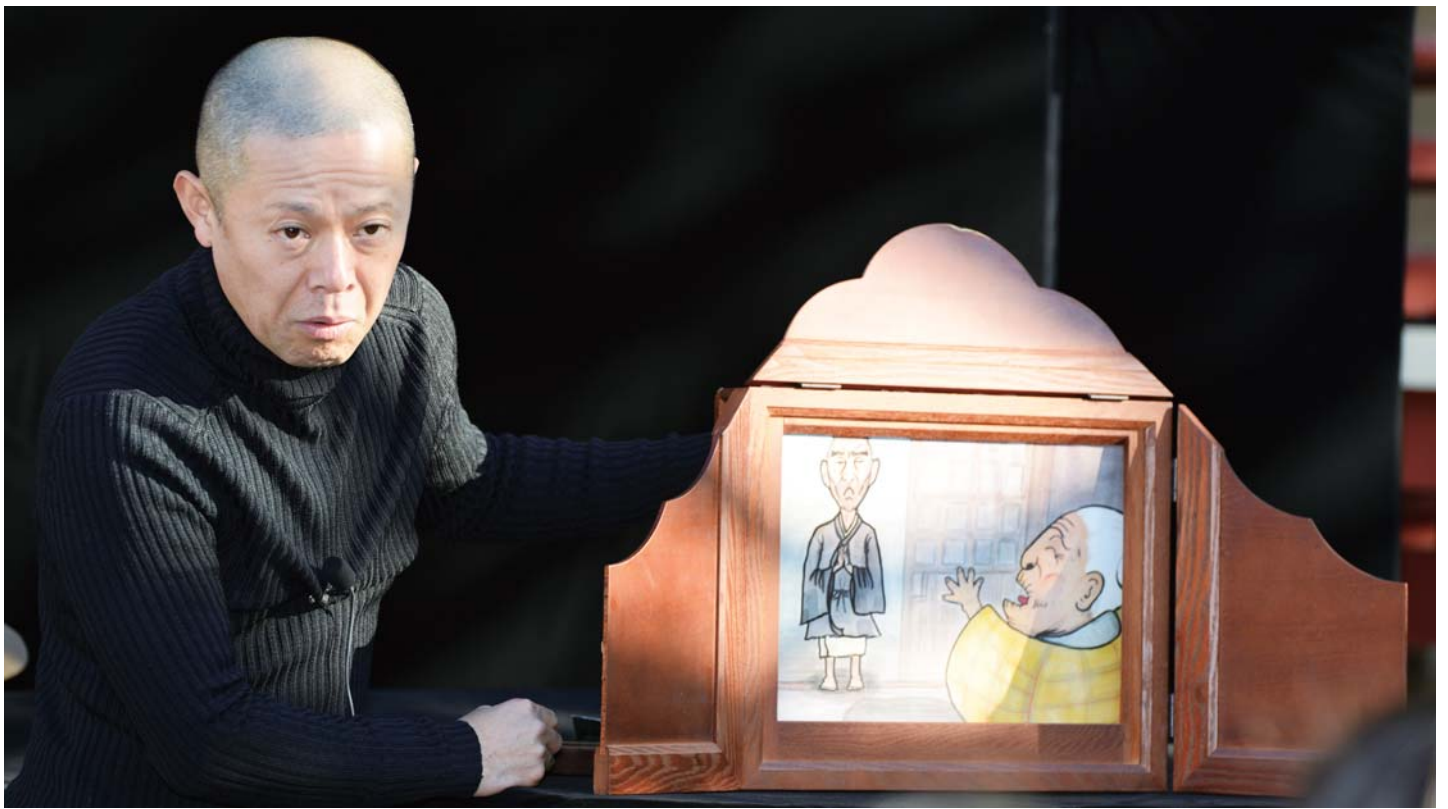




人形劇「さんまいのおふだ」。小僧と和尚さん、山姥が繰り広げる痛快コメディ。  
人形の動きと声に変化をつけ、ひとりで3役を見事に演じ分ける

どの制作営業を担当していた。会社で滋賀へ移転後は、自身も家族と共に移住。そんなあるとき転機が訪れる。その滋賀長浜で行われるイベントのPRのため、紙芝居の公演を依頼されたのである。もちろん紙芝居なんてやったことも教わったこともない。自ら絵を描き、見よう見まねで準備をした。東京駅の八重洲口改札前、ゲリラライブ的に上演を遂行。すると意外にも、立ち止まって見てくれる人たちが大勢いた。「いけるかもしれない、面白いと興奮した」という真寛さん。ちょうど同時期に、日本の人形劇界を支えてきた・故丹下進氏と出逢い、「さんまいのおふだ」の稽古を受ける。紙芝居「ねずみきょう」の製作・上演も開始。

「このとき初めて、こういうお坊さんもありかなと思っただんです。これをもってすれば、いろんな人とながって輪を作っていける。僕は芝居で人を笑わせたり楽しませたりするお坊さんになろうと」。叔母の「これからのお坊さんは亡くなった人を喜ばすだけではあきません。生きてる人も喜ばせてこそお坊さんです」という言葉が真寛さんを一層奮い立たせた。



紙芝居「ねずみきょう」。おばあさんが旅のお坊さんから教わったお経は全くのデタラメだったけど…!? 真寛さんお手製の絵がなんと可愛い

冬空のもと、最前列の子どもたちは誰一人として立ち去ることなく劇に釘づけになっていた。そのまなざしは、真剣そのもの。かと思えば、手を叩いて喜び、お腹を抱えて笑う。屈託のない笑い声とめまぐるしく変わる表情はエネルギーに溢れていた。子どもたちにつられ、大人たちの表情も次第に柔らかくなっている。「大人の皆さんも、今日は10で割った年齢に戻ってください」。気づくと、一時間の公演中、終始百人以上の観客が真寛さんを取り囲んでいた。

「人形劇を通じて、これまで縁がなかった人や途切れていた人ともつながれる。そんな時、ご指導いただいた丹下さんに対して『ありがとう』という気持ちになります。その恩返しには、とにかく一生懸命やるしかない。僕は丹下さんからバトンをもらっているから下手なことばせえへん。仏教も同じでしょう。我々は法然さんのバトンをもらっているからお念仏を伝えていかなきゃいけないし、お釈迦様のバトンをもらっているから仏教と向き合わなきゃいけない。いいかげんなことしたらダメ、まだまだですけど自分を律する気持ちが大事なんだ」と、人形劇を通して気づきました。それに、もし僕が中途半端にやっていたら周囲に理解されなかったと思う。まじめにやればやるほど共感してくれる人が増えている気がします」

劇中、小僧が「すみません 皆さん、どっちに逃げたらいいですか!？」と尋ねる。子どもたちは「右!」「前!」などと高らかに叫び、まるで戦隊ショーを見ているかのような盛り上がりだ。屋外にも関わらず、人形劇は観客を巻き込んで、会場に一体感が生まれていく。

「芝居は生もの。細かいアドリブはその場の雰囲気とノリの良さで決めます。お客さんの顔を見てネタを変えながら、一つの作品でみんなが笑えるようにしたいですね」。なるほど、作中には旬の曲やネタが顔を出し、私たちの笑いを誘う。次に何が来るかわからないこのドキドキ感。

「アクシデントが起きた時に、人間は鍛えられる。人形を出し間違えて子どもに指摘されたり、小道具を舞台袖に忘れて、色々ありました(笑)」。その時自分がどんな行動をするか、観客の反応にいかにか切り返すか。それが試されるとき、瞬発力がアップする。お寺ってハプニングだらけですよ。お檀家さんは予期せぬ時に来るし訃報もそう。その場面の振る舞いによってはお坊さんとして信頼度が上がるし関係が深まる。お芝居はその稽古にもなっているとと思います」

上映中、観客の数人から「この人、ほんとにお坊さんなんですか?」と声をかけられた。たしかにこんな愉快なお坊さんには私(お坊さんフアン歴4年)もいまだかつて会ったことがない。

「お坊さんがこれをやっているということが大事なんです。僕は念仏の話もブツダの話もしない。でも、面白いお坊さんが来て楽しい時間を置いていったという記憶は子どもの中に残る。浄土宗の一僧侶に過ぎない僕の名前を、数年越しに会った子が覚えていくれるんですよ。僕が存在が彼らの心に引つかかって、お坊さんが身近になってくれたら良いかな。彼らが大きくなった時に『お葬式に行くの嫌だな』と言う親に対して『意外とおもしろい坊さんもいたよ』と何気なく言うかもしれない。何かあった時に『お寺に行ってみよう』となるかもしれない。そしてそこに頑張っている仲間がいてくれたらこんな嬉しいことはないですよ。皆

関根理沙(せきね・りさ)

1991年生まれ。早稲田大学文学部5年。大学では平安文学を専攻し、和泉式部の和歌における美意識と恋愛観を研究。19歳の京都一人旅でお坊さんの魅力に目覚める。2013年4月より1年間、同志社大学文学部に交換留学。“京都を世界一愛する大学生”として京都市中の寺社仏閣や行事を訪ね歩く。2014年10月より自身が住む埼玉県東松山市の観光大使に就任。地元の観光振興に努めている。夢は、美しい日本語と古典文化を受け継ぐ大和撫子。

で門を開いていく。僕はこういうパートだけど、各々が自分のパートで努力して、皆がタッグを組んでいけば、仏教・宗教というところで、広く安心と喜びを届けられる。自分はその導入部を担う役割だと思っっている。今まで説教ばかりでお寺に入りこなかった若い人や来る機会がなかった子どもたちへきつかけを作っているんです。以前、実家のお寺でシャンソンコンサートをしたら、お檀家さんの娘さんがお客さんとして来てくれて。後々、そのお父さんが亡くなった時に『あの経験のおかげで緊張せずお寺にスツと入っていった』と言ってくれた時はハッとしましたね。一方でお年寄りには、久しぶりにお寺で笑った、お寺に来て良かったと思っしてほしい。あるおばあちゃんは『友達はもうテレビしかないなくて、いつまで生きられるのかと思っっていたけど、長生きするとこんな時も過ごせるんだね』と言っられて。このおばあちゃんは、帰ってからいつもと違う顔でテレビを見ているかもしれない。心に温かい花が咲いたなら僕が演った意味が出てくる」

私が半年前に失恋をした時、動揺のあまり親しいお坊さんに助けを求めた。「阿弥陀様にすがりたいこの気持ちは信仰心か」と尋ねると「それは信仰心じゃない」とバツサリ切られた。だが淡々と解説を受けるうちに心が落ち着き、ようやく涙が出たことを鮮明に覚えている。タイミングとしてはおそらく正しくないが、哀しみの中で浮かんだお坊さんの顔は、この上なく心強かった。そんな存在のおかげで、私は日々をこうして穏やかに生きていくのかもしれない。「住職は、いろんな角度からお寺を盛り上げていける立場にある。住職がコーディネートとして、年間のスケジュールを真剣に考えた上で僕を呼んでくれたら嬉しいですね。人形劇で皆を笑わせたら、次の法要はあの人の説教でバシッと締めてもらおう、とか。僕はあくまで引き出しの一つに過ぎないんです。あらゆる道筋があるのが本来の仏教のはずだから、聴衆が1000人いたら100通りのパターンがあつて良い。いろんな要素がうまく調和していけるはずなんです。お寺ってどんな世代がいてもおかしくないでしょう。幼稚園・保育園だと、主役は子どもで老人はゲストだし、老人ホームならその逆

になつてしまふ。異世代がミックスされているのが普通なんですよ。こんな最高の場所はお寺しかないですよ。今、都会の子は遊ぶ場所がなくて家の中で遊んでいるけど、お寺を開放したらとも思う。子どもたちが自由に遊んだりお年寄りから勉強を教わったりできるようにするんです。お寺って地域とお檀家さんによつて建てられたもの。住職一人を抱え込むのではなく、皆の力を借りて子どもたちを守つていけば良い。お寺の機能をフル活用して、皆で楽しくやつていきたい」

いつか真寛さんがお寺に入つた時には、地域に根付いたあたたかい空間をつくるだろう。お寺を持たないお坊さんの苦悩を影ながら見つめてきた身として、志ある人が花を咲かす場を得ることを願わずにはいられない。「寺離れとか色々言われるけど、芝居を通じて、頑張っている世代と共に、仏教・お寺・お坊さんを面白くしていきたい。今、30代は沸々としていて熱いでしょう。この世代が中心になつた時にそのままの勢いで行つてほしいし、僕はそのための火を灯し続けたい。そこに20代が乗つてくると面白いですよね。僕の周りにも、武器がなくて悩んでいるお寺の息子は多いんです。でも武器を持たなくても、周りにヒントが転がっているかもしれない。そのヒントを地域や人とのつながりの中で見つけて、そこで未来をどう切り開くか考えることもできる」

今は宗派と宗教を超えて多様な場所でもやりたいと熱く語る真寛さん。「お寺によつては法然さんや親鸞さんの生涯をやつてと言われるけど、そうしたらそしか行けなくなっちゃうでしょ。それよりも今はお坊さんが出てくる昔話をやりたい。昔話のお坊さんつて、二パターンなんです。寿限無に出てくる和尚さんのように博識で頼りにされているか、蹴落とされて一本取られるか。それを見てお坊さんつて悪者なんだと本気で思う人はいないでしょう。こういう話はお坊さんが身近だからこそ残つたんだし、バトンを受け継いで伝統に真つ正直にやりたいです。自作の紙芝居を絵本に作り変えて、又違う形で多くの人々の手元に届けられたらいいかな」

終了後、余韻に浸つていると、「しんかんさんはどこにいるの？ これを渡したいの」と少女がやつて来た。見るとその手には百円玉がぎゅつと握り締められている。教えた方角へ一目散に走つていくその顔は、照れくさそうでもあり、誇らしそうでもあつた。その後も、ひとりり片付けをする真寛さんのもとには、子どもたちがひっきりなしにやつて来た。「面白かつたよ」と言う少年の顔を「見てくれてありがとうな」と撫でる真寛さん。今日の子ども達にとつて、初めて出会つたお坊さんはおそらく真寛さんだろう。その出会いの記憶はたしかに楽しいものに違いない。この子たちが「お寺に行こう」と言う日はそう遠くはない。

山添真寛(やまぞえ・しんかん)

1968年生まれ。滋賀県甲賀市信楽町の浄観寺に生まれる。東京での劇団活動の後、イベント制作会社に入社、イベント営業・制作などに携わる。会社移転に伴い、滋賀県を拠点に紙芝居や人形芝居の上演活動を開始。2008年、浄観寺に戻り、紙芝居や人形芝居の上演を継続すると同時に浄土宗の僧侶として再スタートする。現在は、自称「浄土宗の劇団ひとり」として、お寺での上演を中心に、幼稚園や保育園、図書館、各種フェスティバルなど、全国各地をまわる。現在は京都在住で、入るお寺を探中。



# お坊さん 目和。

だ、  
12...  
「きく」の...  
「まなか」  
みっざわひ3あき



※お経のひとつ。なぜ「南無阿弥陀仏」をとこなえるのか？その理由などが書いてあります。



つづく

生きた仏教思想史を学ぶ入門書

〈梶山雄一著作集第8巻 業報と輪廻／仏教と現代との接点〉

February - March

世間的な評価では、故梶山雄一先生(1925-2004)はインド仏教文献学の第一人者で、特に「空」の思想や、認識論・論理学などの専門家、というところだ。しかし、先生の著作集の最終巻(第八巻)では、およそ二千五百年の仏教の思想史を平易な言葉で語ったうえで、現代をとりまくバイオテクノロジーや環境汚染の問題など、どう接していくか、というところまで筆を進めておられた。

宗教・哲学・思想を何として生み出す努力を続けねばならない」(P.221) 文献学者らからぬメッセージに最初驚いたが、現代を生きるよすがとなつてこそ過去の人々の足跡も生きたものになる。すべてはつながりのなかにある、という大乘仏教に通底する「空」の思想は、もちろん今日において意味を持ちうる。仏教の思想史を正しく学べば、伝統は自ずから革新されていくし、未来を築くための力となる。現代社会の閉塞感や自然科学の抱える諸問題に向き合うための仏教入門書として、あえて本書を薦めたい。



『梶山雄一著作集 第8巻』  
業報と輪廻／仏教と現代との接点  
梶山雄一：著 御牧克己：編  
春秋社：刊 10,260円(税込)

しりとり法話バトル

第6回

審査員：飯村絵理子、関根理沙、鳥居友依  
Judge: Eriko Imura, Risa Sekine, Tomoe Torii

お題

スイーツ

今回のお題は女子が大好きな「スイーツ」  
案外お坊さんも大好きだったりして☆

あの甘さが忘れられなくて、あの甘さを喜ぶ自分を忘れられなくて、わざわざあのお店の近くに用事を作ってあたかも寄り道のように店内に入る。4〜5人のお客さんで賑わうその店では、カリカリのシューの中にふわふわしたクリームが外出するのを待っている。僕はいつも4つ入った箱の他に手持ちで一つ買い、車の中で粉砂糖を落とさないようにひっそりとそれを味わう。スイーツを口にしたその後数分間、変わらぬ「甘味」が僕を包み、そして許してくれる。スイーツは、世間で忙しく動く自分を一旦停止させ、その日を豊かに過ごすための「心のゆとり」を与えてくれる。仏教徒にとって、お念仏はスイーツだ。自分の努力を頼りにせず、みほとけのお慈悲を法味(ほうみ)として、僕はそれを味わう。

今月の勝者はこの方！

渡邊元洋

真宗大谷派正蓮寺住職・楽生保育園寿光幼稚園園長。温泉といちご狩りが楽しめる伊豆のお寺でお念仏をいただく34歳。4月の「数珠JAZZ」開催と、お寺のレコードコンサート「蓮根レココン」の年内開催に向け精進中。

しりとり法話バトル

ウデに覚えのある僧侶たちが、毎月しりとり形式で出されるお題ののっつ法話を作り、きびしい審査によって掲載・非掲載のふるいにかけられる。フリスタ史上まれにみるサバイバルな企画。ウェブでは、残念ながら掲載に至らなかった法話と、審査員の評価を見ることができるので要チェック！  
www.freemonk.net

気になる次回のお題は「ツツ」

僕はいつも一人になれそうなき、本堂でお念仏以外の音をたてないようにひっそりとそれを味わう。お念仏を口にした後数分間、変わらぬ「法味」が僕を包み、そして許してくれる。お念仏は、世間で忙しく動く自分を一旦停止させ、その日を豊かに過ごすための「心の栄養」を与えてくれる。僕たちは、お念仏を食べて生きていく。だから掌を合わせる。

## EVENT CALENDAR



## 毎回好評!!

**仏教伝道協会主催イベント  
押さえておきたいこの2つ**
**2/10(Tue) 働く人のための坐禅会**

仕事帰りに疲れたところと頭の整理をしませんか?  
お一人でも気軽にご参加ください

20:00~21:30(坐禅60分 お茶会20分) 500円 定員30名

講師/阿純章師(天台宗)

事前申込必要 その他詳細はFacebook、または<http://www.bdk.or.jp>にて。

▶仏教伝道センタービル7階「縁」の間

**2/26(Thu) 仏教聖典を初歩英語で学ぶ会**

日本語と簡単な英語を交えながら仏教を学びませんか? 英会話のレッスンと日本文化の深さを知ることができる一挙両得な講座です  
1回のみ参加でもOK!

18:30~20:00 500円 定員40名

英語初心者、中級上級英語習得者、外国の方大歓迎

講師/ケネス・タナカ師(浄土真宗)

テキスト(随時配布)/『BDK TV説法DVD』

事前申込必要 その他詳細はお電話、Facebook、または<http://www.bdk.or.jp>にて。

▶仏教伝道センタービル8階「和」の間 ☎03-3455-5851

**3/10(Tue)~29(Sun)**
**写真展 ブッダのことばとインドの風景  
—今を生き抜くために—**

多くの尊い命と平穏な生活を一瞬のうちに奪い去った東日本大震災から4年を迎えますが、復興への足取りは遅く、未だ復興を支援する継続的な活動が求められています。仏教伝道協会は、慈愛と真理に溢れたブッダのことば(訳:中村元)とインドの写真(撮影:丸山勇)を通して、心に大きな傷を負い、未だに苦しんでいる方々を少しでも癒やし、生きる活力を得て頂きたいという願いのもと、財団設立50周年記念事業のひとつとしてこの写真展を企画しました。この写真展を通して一人でも多くの方がブッダのことばに触れ、心安らかに毎日を過ごすことができますようにと、願ってやみません。仕事帰りに疲れたところと頭の整理をしませんか? お一人でも気軽にご参加ください

10:00~17:30(入館17:00まで) 入場無料 主催/公益財団法人仏教伝道協会 共催/相田みつを美術館 企画協力/公益財団法人中村元東方研究所、NPO法人中村元記念館東洋思想文化研究所 後援/インド大使館/在日インド商工会 月曜休(祝・祭日の場合は開館)

▶相田みつを美術館 第2ホール(東京都千代田区丸の内3-5-1 東京国際フォーラム地下1階) JR「有楽町」駅国際フォーラム口より徒歩3分、JR「東京」駅丸の内南口より徒歩5分、JR京葉線「東京」駅と地下1階コンコースにて連絡(4番出口)



公益財団法人  
**仏教伝道協会**  
BUKKYO DENDO KYOKAI

東京都港区芝 4-3-14 <http://www.bdk.or.jp>  
Tel: 03-3455-5877 E-mail: [bdk@bdk.or.jp](mailto:bdk@bdk.or.jp)  
Fax: 03-3798-2758  
[www.facebook.com/bukkyodendokyokai](http://www.facebook.com/bukkyodendokyokai)

朝禅8:00~ 夜禅20:00~ 無料 定員40名 胡座ができる動きやすい服装でお越しください。

申込はお電話、または<http://www.enyu-jj.com/event/index.html#zazen>まで。

▶天台宗 圓融寺 釈迦堂前(東京都目黒区碑文谷1-22-22)

JR目黒駅(西口)東急バス(3番)大岡山小学校行(01系統乗車15分「碑文谷二丁目」下車徒歩3分、

東急電鉄 目黒線「西小山」駅より徒歩15分

☎03-3712-2098

**2/27(Fri)~3/1(Sun)**
**東京禅僧茶房2015 一下北×お坊さん×発見一**

20代若手僧侶の完全フリーイベント! サブカルの町「下北」で、禅のお坊さんが修行の面白さを伝えます! 一般の方が知ることの出来ない「修行」。そこには驚きの世界観と面白さがあります。しかし、修行はお坊さんだけの特権ではありません。修行とは「自分自身の今を感じる」。過ぎ去った過去を悔やみ、まだ見ぬ未来に不安を抱く私たちだからこそ、生きる「今」を捉える修行が必要です。「今を感じる」メソッドで、心と身体をととのえ、心地良い生き方を発見してみませんか。

11:00~19:00 無料

主催/曹洞宗総合研究センター教化研修部門(Shojin-Project)

その他詳細は<http://www.shojin-project.com/2015.html>にて。

▶下北アトスペースギャラリー(東京都世田谷区北沢2-9-3久富ビル地下1階)

小田急小田原線、井の頭線「下北沢」駅より徒歩2分

☎03-3454-7170(曹洞宗宗務庁広報担当 畔柳公樹)

**3/21(Sat)~22(Sun)**
**春彼岸 一郡上八幡物産展一**

「青山」の地名は、岐阜県郡上八幡城主・青山家の江戸屋敷があったことに由来します。その青山家の菩提寺が梅窓院である由縁から岐阜県郡上八幡観光協会の方々よりご協力いただき、毎年行っている春のお彼岸期間中の物産展。郡上八幡のお酒、駄菓子、味噌、食品サンプル等を販売。ご先祖様のお参りにあわせ、ぜひお楽しみください。

10:00~17:00(22日は16:00頃まで) 無料

▶浄土宗 梅窓院 1階観音堂(東京都港区南青山2-26-38)

東京メトロ 銀座線「外苑前」駅1b出口より徒歩1分

☎03-3404-8588(梅窓院青山文化村)

**2/7(Sat)、3/7(Sat)**
**『俱舎論』を8年間かけて読む会 第12回、第13回**

仏教の基礎を学んでいくプロセスを、「桃栗三年柿八年」ということわざをもじって「唯識三年俱舎(くしゃ)八年」という言葉で呼ぶことがあります。「俱舎」とは、インドの学僧世親が遺した著書『阿毘達磨俱舎論(あびだつまくしゃろん、abhidharmaśābhasya)』であり、その中にはこの世の成り立ちや私たちの心のあり方について細かく分析的に述べられています。「仏教辞典」として、初心者も専門家も常に机の上に置いておきたい一冊です。2012年1月から2年間にわたり「經典をナナメから読む会」を実施し、多くの經典を楽しく味わってききましたが、本年からは、「俱舎」をひもといて一つひとつの仏教語の興行きをゆるやかに味わっていきます。日々の悩み・苦しみはどうやって向き合うかという視点は引き続き大切にしていきたいと思います。笑いの絶えない勉強会にまいりますので、どうぞお気軽にお付き合ってください。

第12回 2/7 19:00~ 第13回 3/7 19:00~ 1,500円(フリスタ会員は1,300円) 定員20名

話者/辻村優英、池口龍法 申込は<http://www.freemonk.net/events>まで。

▶浄土宗 龍岸寺(京都市下京区塩小路通大宮東入八条坊門町564) JR「京都」駅より徒歩10分

※会費のうち、1,000円は震災復興支援のため寄付いたします。

**2/21(Sat)、22(Sun) アラサー僧侶とゆるーく話す会**

アラサーの僧侶数名とフラットに話をする、ゆるーい会です。話のテーマは、あなたの話したいこと。仕事や恋愛、家庭のことなど、普段の生活の中でモヤモヤしていることや、とにかく誰かに聞いてほしいことなど、何でも結構です。もちろん、単純にお坊さんと話してみたいという方や、気になってることをお坊さんに質問してみたい方、ただただまったりした時間を過ごしたい方も歓迎です。お茶とお菓子をいただきながら、お坊さんと一緒に考えてみませんか? どなたでもご参加いただけます。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

14:00~16:30 1,000円(フリスタ会員は800円) 定員10名

主催/フリースタイルな僧侶たち

申込は<http://www.freemonk.net/events>まで。

2/21▶本願寺 聞法会館 1階和室(京都市下京区柿本町869-1)

京都市営地下鉄 烏丸線「五条」駅より徒歩12分

2/22▶京町家 さいりん館 室町二条(京都市中京区冷泉町65)

京都市営地下鉄 烏丸線「烏丸御池」駅2番出口より徒歩5分





## EVENT CALENDAR



## 2/7 (Sat) 如月忌

如月忌とは、仏教婦人会の創設、仏教主義に基づく京都女子専門学校の設立や関東大震災の被災者支援など、多くの業績を残された九條武子様のご生前のご苦労を偲ぶご法要です。皆さまお誘い合わせの上、ご参拝ください。

受付12:30 法要・布教・コーラス・墓前参拝・ぜんざいのふるまいなど13:00~16:30  
無料 講師/西原祐治師(東京教区千葉組西方寺) ▶築地本願寺和田堀廟所(東京都杉並区永福1-8-1) 京王線「明大前」駅、井の頭線「明大前」駅より徒歩10分 ☎03-3323-0321

## 2/7 (Sat) 坐りびと・旬粥

静かに坐り、季節をいただく。心身に優しい時を過ごしてみませんか? 古い経典にお粥には十の功德があると書かれています。坐禅で身息心をととのえ、丁寧にととのえられた四季折々のお粥をいただきます。新年一食目の旬粥を食べて除災招福を祈りましょう!!

開場17:00 坐禅17:30 旬粥をいただく18:20 2,000円 定員18名 講師/飯沼康祐師(天台宗福昌寺副住職) 今回の旬粥/節分豆と桃太郎トマトのお粥 脚を組みやすい服装でお越しください(更衣室あり)。申込は<http://peatix.com/event/68314>まで。▶福昌寺(神奈川県川崎市多摩区菅北浦5-3-1) 京王線「京王稲田堤」駅より徒歩15分、南武線「稲田堤」駅より徒歩10分 ☎090-2172-3391

## 2/10 (Tue)、17 (Tue)、24 (Tue)

マインドフルネスで「幸せスキル」UP!  
—お坊さんのHAPPINESSトレーニング—

同世代のお坊さんから「幸せスキル」を学びましょう! 世界12カ国の映画祭で受賞したドキュメンタリー映画「happy〜しあわせを探るあなたへ」のメインプロデューサーとして、NHKで放送された幸福学白熱教室のプロデューサーとして、「幸福とは何か?」を問い続けてきた清水ハン栄治さんが、心理学者・脳医学者、僧侶や瞑想の達人と一緒に開発した幸福度向上の実践的なプログラムです。仏教的な要素も多分に取り入れられており、日本のみならず、世界の企業や教育機関で実施され好評を得てきました。このプログラムに共感した超宗派の30代の僧侶たちと、清水ハン栄治さんとの連携によって実現したのが、「お坊さんのHAPPINESSトレーニング」です。

19:00~21:00 各回2,500円 定員各回12名 講師/井上広法師(浄土宗光琳寺副住職)  
2/10=「マインドフルネス(評価や判断とは無縁な形で一瞬一瞬に注意を払える瞑想状態)」申込は<http://peatix.com/event/68360>まで。  
2/17=「愛情・共感のココロ」申込は<http://peatix.com/event/68367>まで。  
2/24=「感謝のココロ」申込は<http://peatix.com/event/68368>まで。  
その他詳細は<http://www.tera-buddha.net/1514>にて。  
▶寺子屋ブッダLAB(東京都渋谷区東3-23-3 猪瀬ビル1階)  
JR「恵比寿」駅より徒歩4分、東京メトロ 日比谷線「恵比寿」駅より徒歩4分 ☎03-6433-5411

## 2/13 (Fri) お寺で宇宙学 第13回

科学者とお坊さんと一緒にお寺で宇宙を語りませんか? お寺で宇宙学では、第一線でご研究する研究者と地域で活動するお坊さんを囲んで、宇宙、学問、宗教などを語り合います。

19:00~ 1,000円(フリスタ会員は700円) 話者/佐々木貴教(科学者: 京都大学大学院理学研究科宇宙物理学教室助教、理化学研究所成崎計算宇宙物理研究室客員研究員)、亀田晃蔵(僧侶) 申込は[otera@kwasan.kyoto-u.ac.jp](mailto:otera@kwasan.kyoto-u.ac.jp)まで。▶真宗大谷派 唯明寺(京都市北区紫野門前町48) ☎075-492-0758 ※一般参加者は近隣のコインパーキングが公共交通機関をご利用ください。

## 2/14 (Sat) ナムミックス

あなたは最近いつ涙しましたか? それは悲しい涙でしたか? それともうれしい涙でしたか? いろんな涙があるけれど、それでも私たちは歩いて行ける! 思いっきり泣ける場所がここにある。涙を通じてポジティブになってみませんか? 泣ける仏教エンターテイメント! それが「広島ブックメサイトナムミックス!!」泣くて…いいね、お寺って…いいね。

開場15:30 開演16:00 伝説の日本人ヒップホップアーティストのライブや「泣ける話に特化した断家」の落語、お坊さんトークショーなど 3,500円(チケット販売中、3歳以上有料、全席自由) 出演/GAKU-MC、Metis、SUIKO、泣石家重照、横山雄二 主催/広島青年僧侶春秋会 後援/広島エフエム放送 その他詳細は<http://www.shunju.net/nammix/>にて。  
▶本願寺広島別院(広島県広島市中区寺町1-19)  
広島路面電車「別院前」駅よりすぐ、JR「横川」駅より徒歩10分 ☎082-231-0302

## 2/14 (Sat) 経典をナナムから読む会 第28回

## —科学と仏教の対話—

経典はありがたいもの? 意味のないもの? そうした思いをカッコに入れて、日常的な自分の視点から、納得いかなくても、わからなくても、その気持ちを大切に、素直になってみんなで読む。それが「ナナムから読む」という言葉の意図です。第28回のテーマは「科学と仏教の対話」です。科学と仏教のふたつの「知」から、私たちの「知」のありかたを考えるひとときになりたいと考えています。仏教初心者も歓迎です。多数のご参加をお待ちしています。

16:00~ 1,500円(フリスタ会員は1,300円) 定員20名 終了後に食事を予定しています。参加費は3,000円です。都合のつく方はあわせてご参加くださいませ。  
▶浄土宗 龍岸寺(京都市下京区塩小路通大宮東八条坊門町564) JR「京都」駅より徒歩10分 ※会費のうち、1,000円は震災復興支援のため寄付いたします。

## 2/14 (Sat)~15 (Sun) 六角堂参籠2015

親鸞聖人が比叡山での仏教に行き詰まったときに歩まれた道を当時と近い環境で一晩トレースいたします。六角堂から比叡山大乗院を往復。昨年より真ルートを歩きます。途中リタイア可です。

六角堂集合・比叡山大乗院へ 2/14 22:00~、六角堂解散 2/15 12:00頃 参加費/大乗院へのお志 申込は[kyokyoji@gmail.com](mailto:kyokyoji@gmail.com)(中島浩彰)まで。▶頂法寺 六角堂(京都市中京区六角通東洞院西入堂之前町248) 京都市営地下鉄 烏丸線「烏丸御池」駅5番出口より徒歩3分

## 2/20 (Fri) ぶっちゃけボンサンと語ろう会 第5回

様々なお坊さんと飲み交わしながらお坊さんの本音や皆さんの本音をともに語りませんか!? 今回は、「宗論バトル」日蓮宗 vs 真宗(平和的な皆さんに違いを知っていただくためのバトルです)。

19:30~22:30 2,000円(飲み物付/フリスタ会員は1,700円) 申込は[kyokyoji@gmail.com](mailto:kyokyoji@gmail.com)(中島浩彰)まで。▶真宗大谷派 淨慶寺(京都市中京区御幸町竹屋町下ル松本町563) 京都市バス「河原町丸太町」駅下車、南西方向へ徒歩4分

## 2/20 (Fri) 金曜夜禅

金曜の夜、ただ坐るだけの時間を持ってみませんか。時間内であれば、いつでも参禅できます。季節の移り変わりを堪能できる庭園内の休憩所も開放しております。参禅者に限り、ご自由にお使いください。

19:00~21:00(初めての方は開始10分前集合、坐り方の指導あり) 無料 胡座ができる動きやすい服装でお越しください。その他詳細は<http://www.enyu-u-ji.com/event/index.html#night/>にて。  
▶天台宗 圓融寺 釈迦堂(東京都目黒区碑文谷1-22-22) JR目黒駅(西口)東急バス(3番)大岡山小学校行(01系統)乗車15分「碑文谷二丁目」下車徒歩3分、東急電鉄 目黒線「西小山」駅より徒歩15分

## 2/21 (Sat) 就活生のための禅講座 Vol.05

「不安」「疲労」「孤独」との戦いである就職活動。悩んだ時、ちょっとつづいた時、なんだか疲れてしまった時、そしてそれを誰にも相談できない時。「禅」を通じて、みなさんの役に立つことができるとはじめてのが、この講座です。今や医療機関や大手企業が取り入れている「禅」。難しいものだと思わずに、あくまで就活を攻略するためのメソッドを身につけるつもりで、気軽にお願いいただければ幸いです。

受付13:00 13:30~15:30 無料(数珠・お茶・お菓子付) 定員20名(就職活動中、または予定している方) 主催/曹洞宗総合研究センター就活禅実行委員会 動きやすい服装でお越しください(更衣室あり)。申込・その他詳細は<http://syukatsuzen.blog.fc2.com/>にて。  
▶東京グランドホテル5階(東京都港区芝2-5-2) 都営地下鉄 三田線「芝公園」駅A1出口より徒歩2分

## 2/21 (Sat) 写経と仏典に親しむ会

住職の楽しくわかりやすい仏教のお話を聞いた後で、心静かに写経を行う集まりです。どなたでも自由に参加できます。道具はすべてお寺で用意します。

14:00~ 参加費/お賽銭程度  
その他詳細は<http://www.enyu-u-ji.com/event/index.html#syakyo/>にて。  
▶天台宗 圓融寺 新書院(東京都目黒区碑文谷1-22-22) JR目黒駅(西口)東急バス(3番)大岡山小学校行(01系統)乗車15分「碑文谷二丁目」下車徒歩3分、東急電鉄 目黒線「西小山」駅より徒歩15分

## 2/22 (Sun) 禅×YOGA×アーユルヴェーダ

坐禅もヨガもアーユルヴェーダも、源をたどれば一つです。このセミナーは、原点に立ち戻って全部まとめて行います。毎月一回、どなたでも参加できます。心とからだの調和によって、生命の真理を体感しましょう。

15:00~18:00 3,000円 定員各回12名  
講師/阿純章師(坐禅)、柳瀬けい子(YOGA)、山口哲也(アーユルヴェーダ)  
動きやすい服装でお越しください。  
申込はお電話、または<http://www.enyu-u-ji.com/event/index.html#yoga>内の申込みフォームまで。  
▶天台宗 圓融寺 本堂(東京都目黒区碑文谷1-22-22) JR目黒駅(西口)東急バス(3番)大岡山小学校行(01系統)乗車15分「碑文谷二丁目」下車徒歩3分、東急電鉄 目黒線「西小山」駅より徒歩15分

## 2/25 (Wed) ちょっと坐ろう会(朝禅・夜禅)

今から約1150年前、平安時代に慈覚大師によって創建されたと伝えられる天台宗の古刹、圓融寺。大晦日には重要文化財の釈迦堂へプロジェクションマッピングを行い話題を呼びました。その円融寺で毎月1回・最終週の水曜日の朝と夜に坐禅会を開催しています。歴史ある釈迦堂の中で、穏やかな時間を過ごしませんか? 初めての方でも安心して参加できます。



### 編集後記

昨年、第26号で輪番編集長を務めてから一年が経過した。あれ以来、お坊さんにお話を伺う機会も増え、そのたびに「だからお坊さんってカッコイイ」という瞬間をかみしめてきた。真寛さんの場合は、汗を拭うこともなく演じ続ける真剣な表情と、公演後に子どもと話す笑顔のギャップが最高にかっこよかった。真寛さんがつなく、若手僧侶と子どもたちへのバトンはこれからも輪を広げて受け継がれていくだろう。

お坊さんを応援する声は年々大きくなっていく。だが一方で、お坊さんがちよつと変わったことをやって注目されるという時代は過ぎたように思う。一人ひとりが僧侶として何ができるか本気で考え、現場で実践し、それが評価されるようになった。世間から「自分の仏教」をより高いレベルで求められるようになったのだと、今回改めて感じた。

最後に、こんな生意気な女子大生をいつも温かく受け入れてくださるお坊さんたちに感謝を伝えたい。皆さんの姿を、外の人間として愛を込めて伝えていくことが私の喜びです。やつぱり私は、お坊さんが大好きです。

(第33号輪番編集長 関根理沙)

## ■協賛のご報告■

本誌発行にあたり、ご支援いただいた皆さまに厚く御礼を申し上げます。  
以下に、法人サポーターの方々の名前のみ掲載させていただきます。

安心院(京都府八幡市 浄土宗)／安樂寺(京都府南丹市 浄土宗)／石尾山弘法寺(大阪府和泉市 真言宗)／円光寺(東京都台東区 臨濟宗妙心寺派)／延命寺(大阪府堺市堺区 浄土宗)／圓融寺(東京都目黒区 天台宗)／宜雲寺(東京都江東区 臨濟宗)／吉祥寺(山口県萩市 浄土宗)／九品寺(京都府京都市南区 浄土宗)／教安寺(福岡県福津市 浄土宗)／慶藏院(三重県伊勢市 浄土宗)／光照院(東京都台東区 浄土宗)／光照寺(大阪府大阪市東淀川区 浄土真宗本願寺派)／光徳寺(福岡県みやま市 浄土真宗本願寺派)／光明院・田中医院(京都府京都市中京区 浄土宗西山禪林寺派)／光明寺(奈良県吉野郡 浄土真宗本願寺派)／五百羅漢寺(東京都目黒区)／金剛寺(京都府京都市東山区 浄土宗)／西明寺(兵庫県尼崎市 浄土宗)／西樂寺(京都府京都市伏見区 浄土宗)／西林寺(大阪府泉南郡 浄土宗)／浄栄寺(滋賀県東近江市 浄土宗)／正覚寺(青森県青森市 浄土宗)／浄元寺(兵庫県尼崎市 浄土真宗本願寺派)／性高院(愛知県名古屋市中千種区 浄土宗)／正善寺(兵庫県伊丹市 浄土宗)／正法寺(京都府京都市東山区 時宗)／勝樂寺(東京都町田市 浄土宗)／正蓮寺(静岡県伊豆の国市 真宗大谷派)／信覚寺(福岡県朝倉郡 浄土真宗本願寺派)／新善光寺(北海道札幌市中央区 浄土宗)／瑞聖寺(東京都港区)／瑞生寺(静岡県浜松市中区 曹洞宗)／崇福寺(滋賀県甲賀市 浄土宗)／善願寺(滋賀県甲賀市 浄土宗)／善道寺(北海道札幌市豊平区 浄土宗)／大圓寺(東京都目黒区 天台宗)／臺鏡寺(大阪府枚方市 浄土宗)／檀王法林寺(京都府京都市左京区 浄土宗)／潮音寺(東京都大島町 浄土宗)／超覚寺(広島県広島市中区 真宗大谷

派)／長壽院(東京都台東区 浄土宗)／梅窓院(東京都港区 浄土宗)／法岸寺(静岡県静岡市清水区 浄土宗)／宝皇寺(北海道函館市 真宗大谷派)／寶松院(東京都港区 浄土宗)／宝泉寺(愛知県津島市 浄土宗西山禪林寺派)／法善寺(大阪府大阪市中央区 浄土宗)／法然院(京都府京都市左京区)／法華寺(京都府亀岡市 日蓮宗)／本覺寺(神奈川県横浜市鶴見区 天台宗)／無量光寺(鳥取県鳥取市 浄土宗)／薬師院(大阪府岸和田市 真言宗)／陽岳寺(東京都江東区 臨濟宗妙心寺派)／龍雲寺(東京都世田谷区 臨濟宗妙心寺派)／龍岸寺(京都府京都市下京区 浄土宗)／緑泉寺(東京都台東区 浄土真宗本願寺派)

一般社団法人 日本石材産業協会(東京都千代田区)／遠藤新兵衛商店(京都府京都市下京区)／学校法人 鎮西学園(熊本県熊本市中央区)／株式会社 アールアンドダブリュー(京都府京都市中京区)／株式会社 京美仏像(京都府京都市北区)／株式会社 薫寿堂(兵庫県神戸市)／株式会社 作島(京都府京都市下京区)／株式会社 寺の友社(京都府宇治市)／株式会社 トラベルサライ(大阪府大阪市中央区)／京都坊主BAR(京都府京都市中京区)／茶坊えにし(東京都台東区)／寺院コム(京都府京都市左京区)／浜屋株式会社(兵庫県姫路市)／ヨシダ印刷株式会社 京滋営業所(京都府京都市中京区)

(五十音順)

## フリースタイルな僧侶たちとは

●「仏教＝葬式」だとあなたは思っていますか？しかし、経典をひもといてみても、お葬式について語られていることはほとんどありません。そこには、「なぜ私たちの苦しみは起こるのか」「正しい知見を得るにはどうすればいいのか」といった「生きていくための教え」が多く説かれています。●人の心を狂わせる怖いものとして宗教が遠ざけられ、お葬式や法事は簡略化される傾向にある今日ですが、自分の弱い心にふたをして、やがてはおとずれる死から目を背けても、充実した人生はありえません。仏教の持つポテンシャルをうまく引き出し、自分自身に向き合うことによってこそ、これからの社会が確かに形づくられてくると私たちは信じています。●「フリースタイル」という言葉をかかげたのは、仏教の持つ2500年の伝統を敬いつつも、ゼロベースで日本仏教の未来を模索しようとしたことです。●本誌フリーマガジンの発行(年間6回・偶数月1日発行)もまた、その試みのひとつです。街中のカフェやバーなどで手に取った瞬間に、安らぎや気づきがあることを願って発行しています。配布にご協力いただける店舗・施設を随時募集しています。●私たちは、30歳前後の若い僧侶たちが中心になって活動しているため、「仏教の再生」のつもりが、「伝統からの逸脱」につながることも

あるかもしれません。その際には、皆さまのご指摘をお待ちし、誤りについては改めながら大胆な試みを続けていくつもりです。これからの時代を生きやすいものにするため、ご協力をよろしくお願いたします。●志を同じくする僧侶や誌面作りやイベント実施に協力していただけるボランティアスタッフもお待ちしています。まずは気軽にお問い合わせください。

## サポーターズ・クラブ会員募集中!!

私たちの活動に共感し、応援していただける方を大募集中

協賛年会費：5,000円(個人)／30,000円(法人)

サポーターズ・クラブの皆さまには、年間6回発行予定の本誌をお届けします。また各種主催イベントにおいて優待いたします。

法人会員の方々は、誌面にお名前を掲載させていただきます。

会費振込先：三井住友銀行 園田支店(422) 普通 5092943  
フリースタイルな僧侶たち 代表 池口龍法

※お振込みいただく際には、あらかじめご連絡ください

・Telでのお問い合わせ ☎075-555-5730

・Faxでのお問い合わせ ☎075-777-9579

・E-mailでのお問い合わせ info@freemonk.net

### 冬用 各宗派衣価格(税込)

|                    |                         |
|--------------------|-------------------------|
| ● 布袍化繊地 18,800円より  | ● 黒直綴化繊地 27,000円より      |
| ● 改良衣化繊地 17,500円より | ● 白衣テロンウール 9,950円より     |
| ● 間衣化繊地 17,500円より  | ● 白衣高級メガーナ京仕立 16,800円より |
| ● 黒衣化繊地 30,500円より  | ● 足袋 950円より             |

匠のお安いクリーニング お電話お待ちしております

法衣・袈裟製造直販

丸西宗教織物株式会社

京都市下京区堀川通正面上(西本願寺前店)

☎0120-075-024

築90年の京町屋で本格タイ料理

佛沙羅館

Tel:075-361-4535

http://r.gnavi.co.jp/k024400/

住所:京都府京都市下京区木屋町通松原上ル美濃屋町173-1

祇園ギャラリー源右衛門

Tel:075-533-6088

京都市東山区祇園町南側555番地(祇園ホテル1F)

お念珠取り揃えております





Mama'a  
 浜屋は  
 関西最大級の  
 お仏壇・お仏具・  
 墓石の専門店です。

やすらぎの世界を創る



**浜屋**

お仏壇・お仏壇・お仏具・お墓・ギフトのご相談は  
 通話料無料 浜屋姫路本社フリーダイヤル  
**0120-1616-94**  
 ●受付時間/午前10時～午後6時30分まで

関西最大級の38店舗、安心のネットワーク。お近くの浜屋へご来店下さい。

- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| ■奈良王寺店 ☎(0745)31-2211代   | ■尼崎市役所前店 ☎(06)6414-3900代 |
| ■奈良生駒店 ☎(0743)83-2211代   | ■尼崎店 ☎(06)6413-2211代     |
| ■岸和田店 ☎(072)445-2211代    | ■宝塚店 ☎(0797)83-4500代     |
| ■堺鳳店 ☎(072)261-2211代     | ■西宮店 ☎(0798)51-2211代     |
| ■藤井寺店 ☎(072)954-2211代    | ■西宮駅前店 ☎(0798)34-2280代   |
| ■駒川店 ☎(06)6709-2211代     | ■芦屋店 ☎(0797)35-1194代     |
| ■八尾久宝寺店 ☎(072)925-2200代  | ■三田店 ☎(079)559-2211代     |
| ■中環東大阪店 ☎(06)6783-2211代  | ■神戸本町店 ☎(078)371-2211代   |
| ■遠屋川本店 ☎(072)829-2211代   | ■新長田店 ☎(078)621-2211代    |
| ■枚方家具団地店 ☎(072)836-2211代 | ■明石店 ☎(078)927-2211代     |
| ■高槻店 ☎(072)683-2211代     | ■加古川店 ☎(079)426-2211代    |
| ■茨木店 ☎(072)622-2211代     | ■高砂店 ☎(079)443-2211代     |
| ■箕面店 ☎(072)726-5522代     | ■姫路店 ☎(079)282-2211代     |
| ■豊中熊野店 ☎(06)6853-2220代   | ■福崎店 ☎(0790)22-2211代     |
| ■豊中店 ☎(06)6848-2211代     | ■網干店 ☎(079)272-2211代     |
| ■川西店 ☎(072)759-2201代     | ■龍野店 ☎(0791)62-2235代     |
| ■北伊丹店 ☎(072)780-5211代    | ■赤穂店 ☎(0791)45-2211代     |
| ■伊丹店 ☎(072)775-2211代     | ■山崎店 ☎(0790)62-5171代     |
| ■東園田店 ☎(06)4960-4000代    | ■浜屋漆工芸館 ☎(079)293-2211代  |

■本社/姫路市南殿町2丁目31番地 TEL.079-288-2211(代)

今のあなたに効くお寺、あります



『お寺に行こう！  
 -坊主が選んだ「寺」の処方箋』

池口龍法/講談社/175頁/1,404円(税込)

弊誌代表、池口が自信を持っておすすめする、旬なお寺の厳選ガイドブック。あなたの心にぴったりのお寺を見つけて、生きる力をもらってみませんか。Amazonや全国書店で好評発売中!!

「フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン」に  
 広告を出しませんか？

本誌は関西の寺院や仏具店をはじめ、カフェやスペイン料理店まで、さまざまな場所に設置しています。設置箇所は現在も拡大中!! (ウェブサイトで確認できます)  
 興味をもたれた方は一度、お問い合わせください。

媒体情報

仕様: A4サイズ/12頁/カラー

発行部数: 11,000部

(2015年2月現在)

公益財団法人 浄土宗ともいき財団

心といのちの電話相談室

☎ 03-3436-6823

相談受付: 毎週月曜日 10:00~16:00

(国民休暇、盆、年末年始は休業いたします)

あなたを支えたいと願う人がいます。つらいお気持ち、おはなしてください。

『心といのちの電話相談室』の特徴

研修を受けたお坊さん、  
 お寺の奥さんがお話を伺います

多彩なご相談に対応します

周囲の方もご相談ください

『心といのちの電話相談室』の約束

秘密は必ず守ります

勧誘はしません

無料でお受けします

『心といのちの電話相談室』事務局

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 公益財団法人浄土宗ともいき財団内  
 TEL.03-3436-3353 FAX.03-5472-4878 ホームページ: <http://tomoiki.jp>

詳しくは

心といのちの電話相談室

検索

フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン VOL.33  
 2015年2月1日発行

デザイン  
 梅本龍青 (NILOTPALA)

マンガ  
 光澤裕顕

ロゴデザイン  
 しらたきなべお

表紙、P2-5、P10 撮影: 池口龍法

発行

フリースタイルな僧侶たち編集部  
 〒600-8119 京都府京都市下京区河原町通五条下ル本塩籠町583-5  
 kawaramachi place 1002号室  
 TEL 075-555-5730  
 FAX 075-777-9579  
 E-MAIL [info@freemonk.net](mailto:info@freemonk.net)

[www.freemonk.net](http://www.freemonk.net)

本誌記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。

総指揮  
 池口龍法

編集長(第33号)  
 関根理沙